

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月10日作成)

小委員会名	建築物の減衰機構とその性能評価小委員会		主 査 名：中村 尚弘 就任年月：2021年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)		委員長名：五十田 博 主 査 名：森 保宏
設 置 期 間	2021年 4月 ～ 2025年 3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築物の減衰機構は、建築物の地震動・風振動・環境振動による応答に影響を及ぼすものの、その物理的性質や特性は未だ明確にされていない。当小委員会ではこれまで、既往の知見を整理するとともに新たな研究成果も加え、2020年に「建築物の減衰と振動」を刊行し、講習会を開催した。これらの活動を通じて減衰特性の把握はある程度前進した一方で、なお不明確な点や解決すべき課題も多く残されている状況であることが明らかになった。本小委員会では、残された課題を整理し、その課題解決に向けた新たな検討を行うとともに、その成果を2024年にシンポジウムを開催して発表することを目標として活動を行う。また2020年に公開された減衰データベースの英語版を作成し、公開する。</p> <p>初年度：2020年の書籍出版を通じて明らかになった、現状なお不明確である点や未解決の課題を整理する。また国際会議 17WCEE で同書籍の検討の成果を発表する。</p> <p>2年度：初年度の課題の整理に基づき今後検討すべき項目を抽出し、検討計画を立案する。</p> <p>3年度：課題の検討とともに、シンポジウムの計画を立案する。</p> <p>4年度：検討結果を整理し、シンポジウムを開催する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：中村尚弘(広島大学) 幹事：佐武直紀(科学技術振興機構)、犬伏徹志(近畿大学)、宮津裕次(東京理科大学) 委員：荒川利治(明治大学)、伊藤真二(大和ハウス)、扇谷匠巳(長谷工コーポレーション)、梶原浩一(防災科学技術研究所)、新宮清志(日本大学名誉教授)、鍋島国彦(神戸大学)、肥田剛典(茨城大学)、宮本泰志(構造計画研究所)、吉田昭仁(東京工芸大学)		
設置 WG (WG名：目的)	下記のWGと共同で、2021～2022年度に整理した未解決の課題から、今後検討すべき項目を抽出し、検討計画を立案する。 ・減衰に関する課題の分析検討 WG 本小委員会と共同で、建築物の減衰に関する未解決の課題の抽出と分析、および今後検討すべき項目の整理を行う。		
2023年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s7/	

項 目	自己評価
委員会開催数	4回(年度内計画を含む)
刊行物	1. 「建築物の減衰と振動」について、中国語への翻訳出版の許可に関して建築学会を通じて問い合わせがあり、了解した。翻訳・出版は中国深セン市の機関で実施する。
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 書籍作成で明らかとなった課題について、最新の技術情報を交換した。 2. 減衰データベースの英語化を進め、公開した。 3. 荷重指針改定版に掲載する原稿について検討した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2024年度に実施予定の減衰シンポジウムの内容を決めていく必要がある。